

第 30 回 NPO 法人シーエム会 交流サロン

開催日：平成 23 年 2 月 18 日 18:00～20:00

会場：東京都中央区 月島区民館 3 号室

講演者：白崎 勝 氏（シーエム会 登録会員）

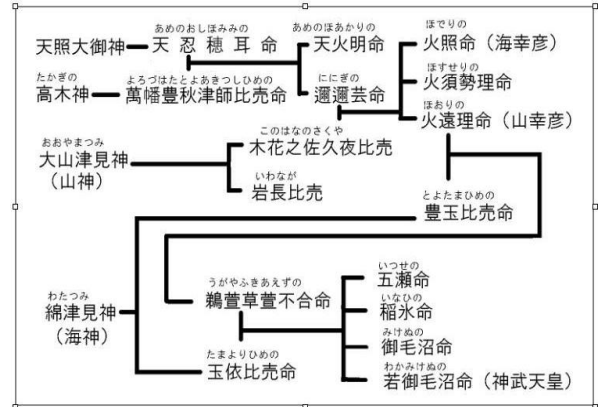
講演テーマ：『古代人の英知・地図に遺した建国』

1、建国の謎

日本建国のことについては、日本書紀・古事記にその記載がある。

1) そこには、天照大御神から数えて六代目の、神武天皇と兄の五瀬命とが相談して、日向から出発し奈良の橿原に東征し建国したことが記されている。

古事記に記す神武天皇の系譜



2) 右図に、神武東征の概略経路を表した。



しかし、ここに謎がある。

- 謎 1 当時文化的に進んでいた北九州からの出発でなく、何故、日向（宮崎）から出発したのが謎。北九州の人たちは何をしていたのか。
- 謎 2 東征隊は宇佐まで進んだ後に、瀬戸内海を東に向かわず、下関海峡を経て北九州市の岡田宮に向かっている。そこに一年留まったとのことだが、何のためか。
- 謎 3 瀬戸内海を船で進んだだけなのに、古事記で16年、日本書紀でも6年を要したと記している。何故、そんなに年数を要したかが謎。
- 謎 4 太陽を背にして戦うと称して熊野の山々を越えたと記している。あの峻険な山並みをほんとうに越えたのか疑問。



3) この謎が解けないことと、戦後、天皇の国とする歴史観が太平洋戦争に結びついたとされて、この東征による建国は創られた神話とされてしまった。

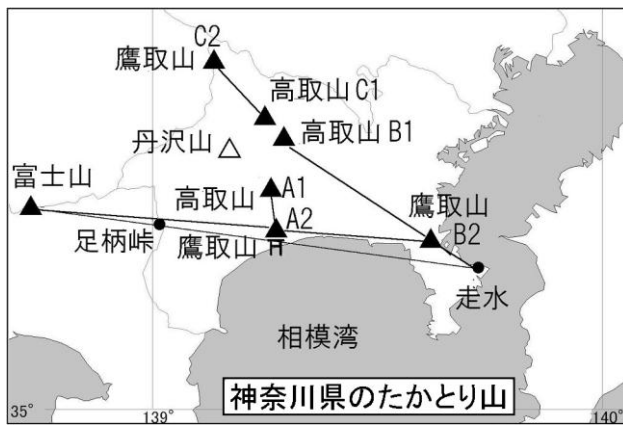
- 4) もしこれが事実でないとすると、違う建国の過程があったはずで、いろいろな説が出ている。
- 5) もう新しい歴史書は発見されない。また遺跡の発掘では、東征隊が何故北九州に迂回したかなどの謎は解けない。
- 6) 今回の発見が、この永遠の謎を解き明かしたかもしれない。

いろいろな建国の過程

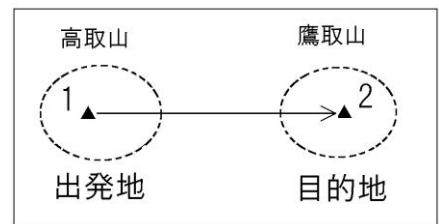
- 畿内説
 - 1、もともと畿内にあった勢力が、大和に建国した。
 - 2、卑弥呼の時代までに東征は終わっていた。
- 九州説
 - 1、九州にあった邪馬台国が大和に東遷した。
 - 2、狗奴国は対立した邪馬台国を倒して、日向から大和に東征した。
- 騎馬民族説
 - 1、五世紀に騎馬民族の崇神天皇が征服し、新しい王朝を開いた。

1、英知の発見

- 1) きっかけは、神奈川県の高取山と鷹取山の分布。
- 2) ベクトル（矢印）の発見



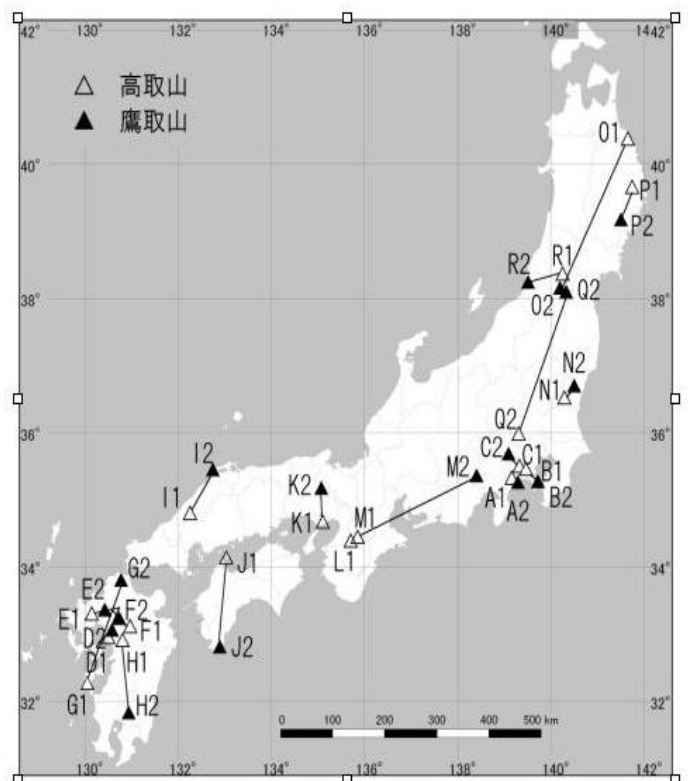
ベクトルの概念



高取山周辺が出發地で、鷹取山周辺が目的地を表している。

- 3) 全国に18の高取山、17の鷹取山が見つかった。
- 4) 奈良より東が日本武尊の東征の足跡で奈良より西は神武東征の足跡か。

全国の「たかとり山」



3、高天原そこは邪馬台国の都だった。

- 1) 東征隊は朝倉で和国連合したようだ。
古事記にそのことが記されていた。

古事記による東征出発の記述

日向を發たして筑紫に幸行でましき。
故、豊国の宇沙に到りましし時・・・」

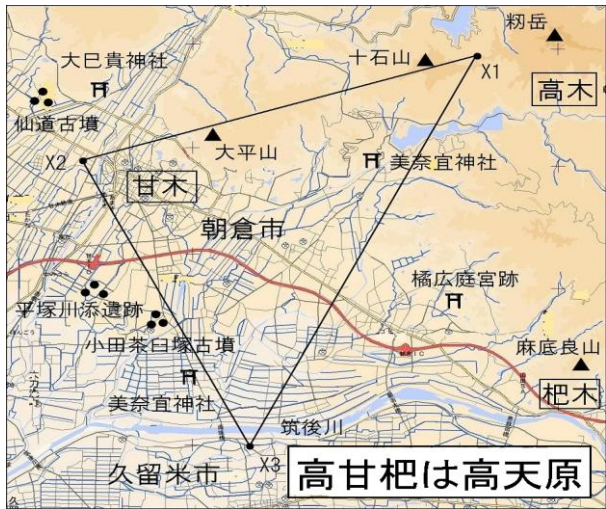
筑紫の岡田宮に一年坐しき。

1) 順次式で記述しているのでは？
2) 筑紫と筑紫の違いは異なる場所を示す

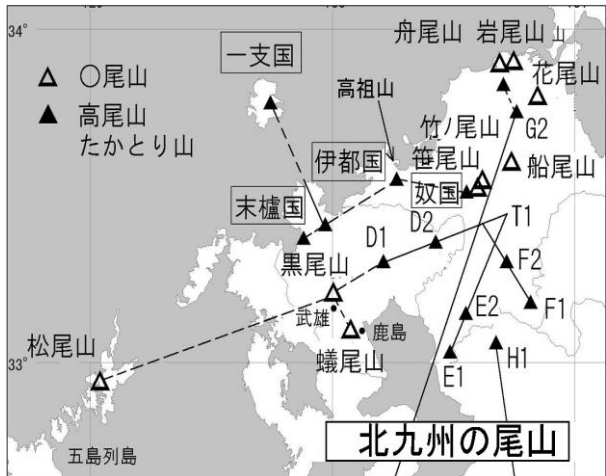


- 2) 東征隊は二手に分かれて出発した。
3) 本隊は直接、下関方面へ向かう。
4) 別働隊の神武隊は一旦、日向に向かう。

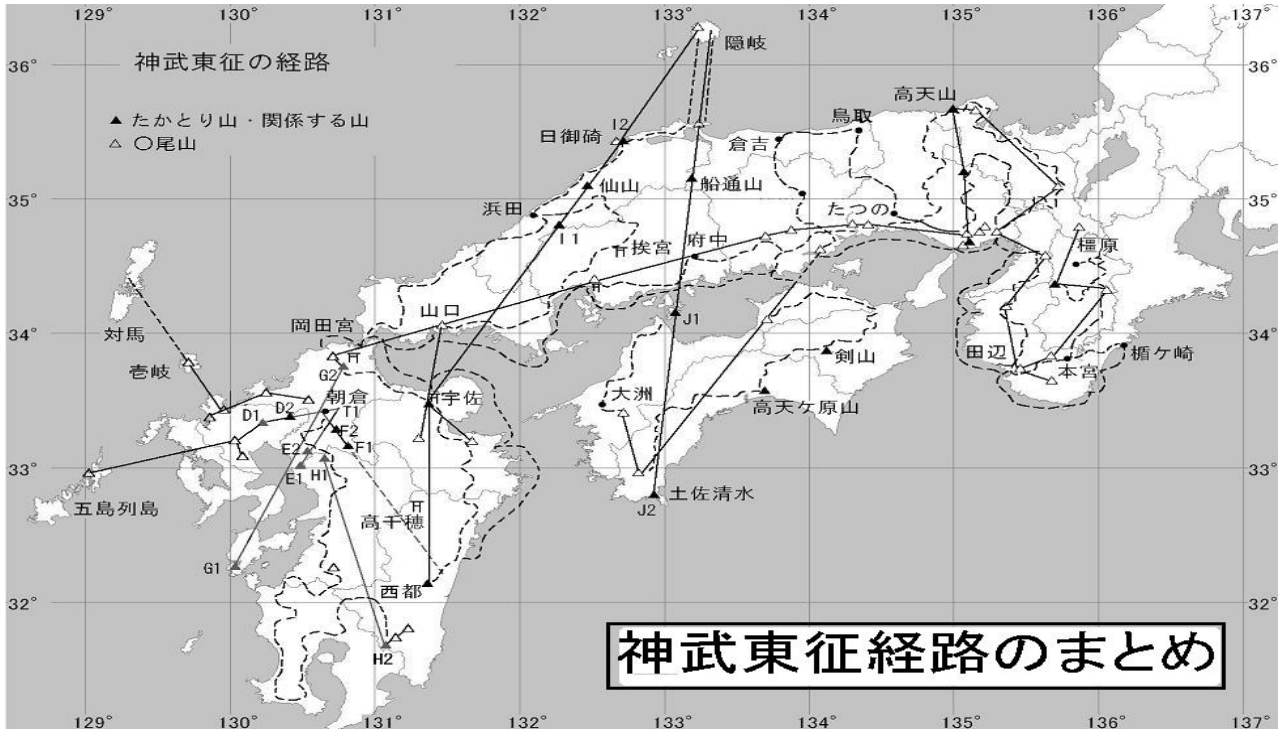
- 5) 美奈宜神社は天照大御神を祀る。
6) 高木・甘木・杷木に囲まれている。
7) 頭をとると高天枳となり高天原では？
麻底良山 (マテラ) には 天照大御神一族が祀られている。



- 8) 高尾山・高雄山・鷹尾山は「たかとり山」を補佐していた。
魏志倭人伝のクニグニに高尾山がある。
- 9) ○尾山も「たかとり山」を補佐していた。
- 10) 高は高天原の高、尾は鷹の尾を表す。

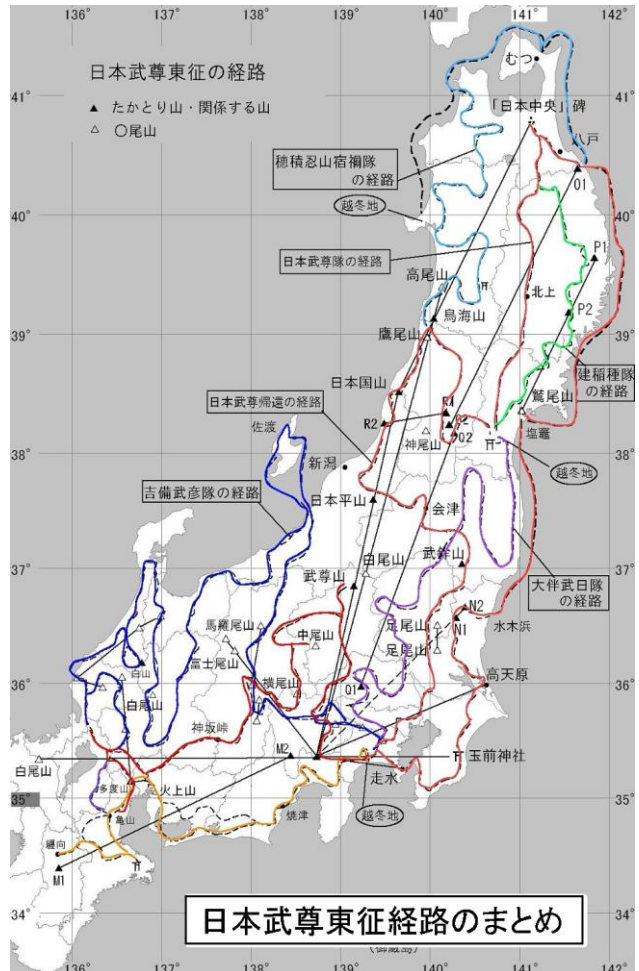


11) 足跡をたどって、見えてきた神武東征の経路



4、富士山と日本国の認識

- 1) 日本武尊東征でも「たかとり山」を使用していて、1連の事業と認識していたことが分かる。
- 2) 副将軍と力をあわせ隈なく東国を巡っていた。
- 3) 富士山こそ「ひのもと」の中心と考えて、富士に向けたベクトルが多く残されていた。
- 4) 日本国という国名をはじめて認識し、富士山から日本国方向に進み中間の武尊山に登り、認識を遺そうとした。



- 5) 富士山の周りに多くの〇尾山を残していた。
- 6) 安曇野に富士尾山があり、富士の字は日本武尊がはじめて使用したようだ。



- 7) 日本武尊は能褒野で亡くなったがその場所がベクトルで指し残されていた。



足跡を追って見えてきた、建国の作業についてまとめた。

- 1) 東アジア情勢に鑑みて、都をより遠くて、倭国の中央に移す作業だった。
- 2) 鉄武器が全国に普及、戦いとなる前の統一作業だった。
- 3) 畑作農業からより収穫の多い灌漑稲作を各地に伝える作業だった。
- 4) 鉄農具や鉄工具など鉄文化を伝える作業だった。
- 5) 峠道や主要な道を拓く作業だった。
- 6) 邑々を区別できるよう、邑に名前をつける作業だった。
- 7) 山々に分け入り銀や鉄などの鉱物を探す作業だった。
- 8) 地方の長を信任したり、任命する作業だった。

以上